

建設委員会報告資料

令和4年11月14日

報告事項件名	頁
(1) 一本橋架け替えに伴う工事説明会の開催結果について	2
(2) 花畑川環境整備事業の取り組みについて	4
(3) 開発許可の審査基準策定に伴うパブリックコメントの実施 結果について	13
(4) 花畑二丁目生コン工場への対応状況について	14
(5) 居住支援の取り組み状況について	16

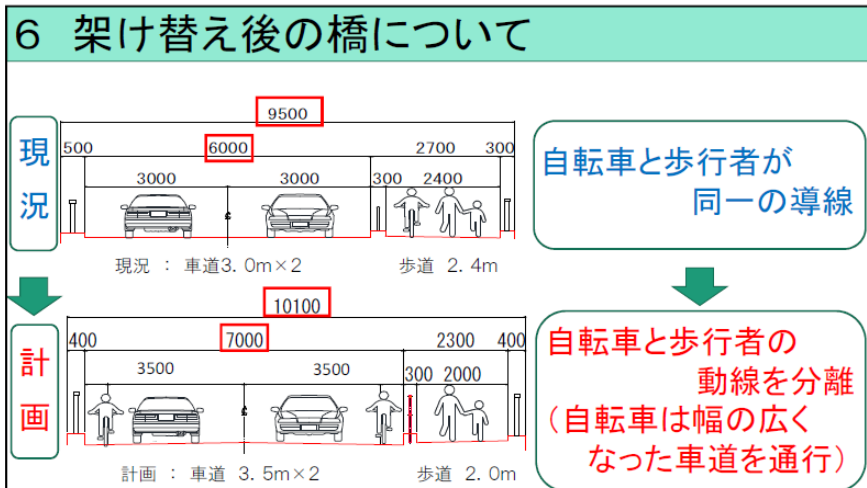
(都市建設部)

建設委員会報告資料

令和4年11月14日

件名	一本橋架け替えに伴う工事説明会の開催結果について
所管部課名	道路公園整備室道路整備課
内容	<p>一本橋架け替えに伴う工事説明会を開催したので、以下のとおり報告する。</p> <p>1 説明会開催の日時等</p> <p>(1) 開催日時 令和4年10月6日(木) 午後6時30分～午後7時30分</p> <p>(2) 場所 舎人第一小学校 第一体育館</p> <p>2 参加者</p> <p>12名</p> <p>3 説明内容</p> <p>(1) 架け替え理由・概要 (2) 通行止め期間・迂回路 (3) 工事スケジュール</p> <p>4 主な質疑</p> <p>Q1：通行止めの際、歩行者や自転車は通行できるか。 A1：歩行者や自転車は通行可能。</p> <p>Q2：迂回路はどこになるのか。 A2：適宜、誘導員が案内する。</p> <p>Q3：交通量が多いので、安全第一で進めてほしい。 A3：誘導員を配置し、安全第一を進める。</p> <p>Q4：歩道の幅員が狭くなるのはなぜか。 A4：警察との協議により歩車道の幅員を見直した。 車道に路肩を設けることで、自転車が無理なく車道を通行できる幅員とし、自転車と歩行者の動線を分離した安全な計画としている(次ページ「架け替え後の橋について」参照)。</p>

(説明会資料より)



(案内図)



問題点
今後の方針

周辺環境や安全確保に留意しながら、工事を円滑に進めていく。

建設委員会報告資料

令和4年11月14日

件名	花畑川環境整備事業の取り組みについて																														
所管部課名	道路公園整備室道路整備課 ガバナンス担当部ガバナンス担当課																														
内容	<p>花畑川環境整備事業の取り組み状況について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 第3回契約変更について</p> <p>(1) 契約の相手方 株式会社東京三田組 代表取締役 三田 哲司 東京都足立区北加平町21番2号</p> <p>(2) 契約金額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">変更回</th> <th style="width: 15%;">時期</th> <th style="width: 30%;">契約金額</th> <th style="width: 30%;">変更額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初</td> <td>令3. 3</td> <td>501,050,000円</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>1回目</td> <td>令3. 7</td> <td>505,582,000円</td> <td style="text-align: right;">4,532,000円</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>令3.10</td> <td>621,277,800円</td> <td style="text-align: right;">115,695,800円</td> </tr> <tr> <td>3回目</td> <td>令4.10</td> <td>994,084,300円</td> <td style="text-align: right;">372,806,500円</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">493,034,300円 (増加率98.4%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 契約金額には消費税を含む。</p> <p>(3) 契約変更年月日 令和4年10月19日</p> <p>(4) 契約番号 2足総契契第010571号</p> <p>(5) 工期</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">変更回</th> <th style="width: 80%;">工期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初～2回目</td> <td>令和3年3月24日から令和5年11月20日まで</td> </tr> <tr> <td>3回目</td> <td>令和3年3月24日から令和6年10月31日まで</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 工事箇所 足立区辰沼二丁目16番～神明二丁目8番先</p> <p>2 花畑川環境整備その1工事の進捗状況について</p> <p>(1) 工事の進捗状況 (別紙1 P6参照) 現在、軟弱地盤対策が完了し、地盤改良工を進めている。</p> <p>3 過去の地盤調査結果について</p> <p>(1) 調査場所 別紙2「調査位置図」のとおり (P7参照)</p> <p>(2) 調査結果 別紙3～5「ボーリング柱状図」のとおり (P8～11参照)</p>	変更回	時期	契約金額	変更額	当初	令3. 3	501,050,000円	—	1回目	令3. 7	505,582,000円	4,532,000円	2回目	令3.10	621,277,800円	115,695,800円	3回目	令4.10	994,084,300円	372,806,500円	計			493,034,300円 (増加率98.4%)	変更回	工期	当初～2回目	令和3年3月24日から令和5年11月20日まで	3回目	令和3年3月24日から令和6年10月31日まで
変更回	時期	契約金額	変更額																												
当初	令3. 3	501,050,000円	—																												
1回目	令3. 7	505,582,000円	4,532,000円																												
2回目	令3.10	621,277,800円	115,695,800円																												
3回目	令4.10	994,084,300円	372,806,500円																												
計			493,034,300円 (増加率98.4%)																												
変更回	工期																														
当初～2回目	令和3年3月24日から令和5年11月20日まで																														
3回目	令和3年3月24日から令和6年10月31日まで																														

4 護岸の安全性について

(1) 安全性の検討

別紙3、4、5「ボーリング柱状図」の標高約-4.00m付近まで堆積するシルト混じり細砂土層について、その一部が液状化を引き起こすと懸念される地層のため、液状化対策の検討を行った。

以下(2)の基準に基づいた安定計算結果をもとに、液状化対策のための地盤改良工の範囲や深度を決定しており、耐震基準を満たした構造とした。

なお、安全性検討イメージ図は別紙6(P12参照)のとおり。

(2) 準拠した基準類

- ア 河川堤防の液状化対策の手引き
- イ 河川構造物設計基準(東京都建設局)
- ウ 陸上工事における深層混合処理工法設計・施工マニュアル
- エ 河川構造物の耐震性能照査指針・解説
- オ 道路橋示方書・同解説 IV下部構造編

5 第2回花畑川を考える会の開催について

(1) 日程 令和4年11月29日(火)

(2) 場所 佐野地域学習センター(佐野二丁目43番5号)

(3) 内容

- ア 追加補正予算、契約変更の経緯
- イ 現在の工事の状況について

6 工事契約額の大幅増加問題に関する調査結果及び再発防止策について

(1) ガバナンス担当部による調査報告

別添資料「花畑川環境整備その1工事に関する工事契約額の大幅増加問題に関する調査報告書及び概要」のとおり。

(2) 再発防止策

以下について、政策経営部、施設営繕部及び都市建設部と連携して、今後具体的方策を検討していく。

ア 精度の高い予算要求を行うための対策(案)

(ア) これまでは、詳細設計を行いながら予算要求を行っていたが、今後は、設計金額が確定してから予算要求を行う。

(イ) 工事の難易度や影響度等を鑑み、必要に応じて第三者による事業費や実現性の確認を行う。

イ 技術力を補うための対策(案)

(ア) 専門性の高い職員の育成や外部人材の活用等の人事対応を行う。

(イ) 係長が適切に管理、指導できる組織を構築する。

(ウ) 工事の難易度や影響度を鑑み、工事監理等の外部委託を活用する。

問題点
今後の方針

その1工事以降の花畑川環境整備工事については、全体計画を精査の上、議会に報告しながら、進め方を決定していく。

③軟弱地盤対策 施工状況



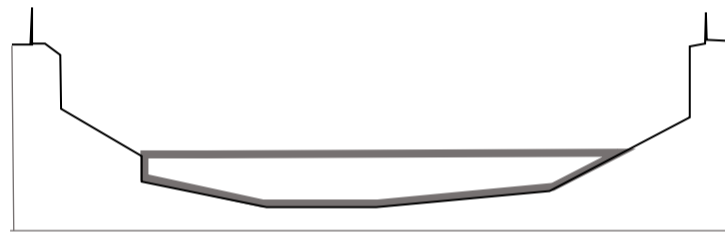
※雪見橋(西側)から富士見歩道橋(東側)にむけて撮影

④地盤改良工 施工状況



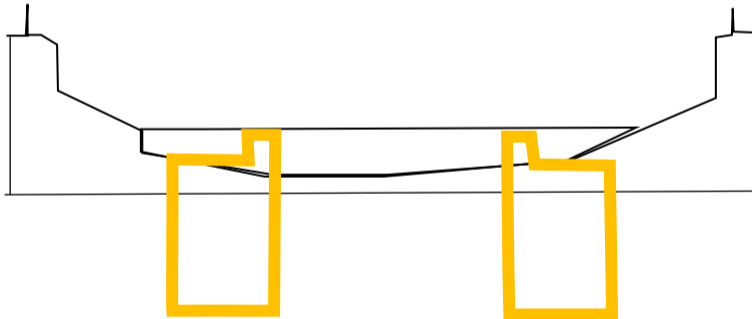
※雪見橋(西側)から富士見歩道橋(東側)にむけて撮影

～令和4年9月 完了
③軟弱地盤対策



- 泥土に安定処理材を添加する
- 建設重機が乗れる地盤を作る

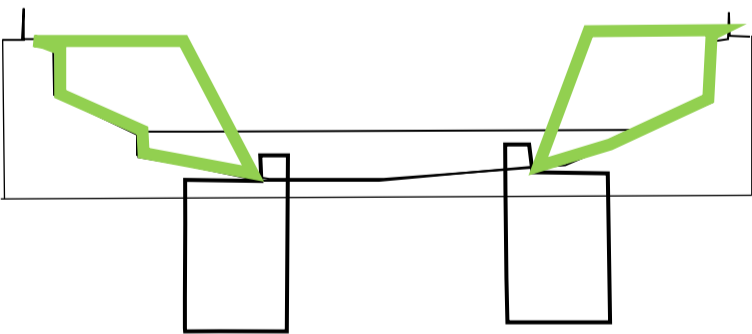
～令和4年11月頃
④地盤改良工



- 散策路部が地滑りを起こさないようにする
- 護岸下の補強を行う

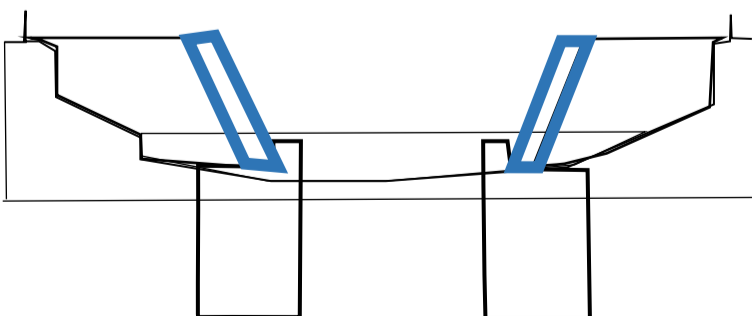
現在施工中

～令和5年10月頃
⑥盛土工



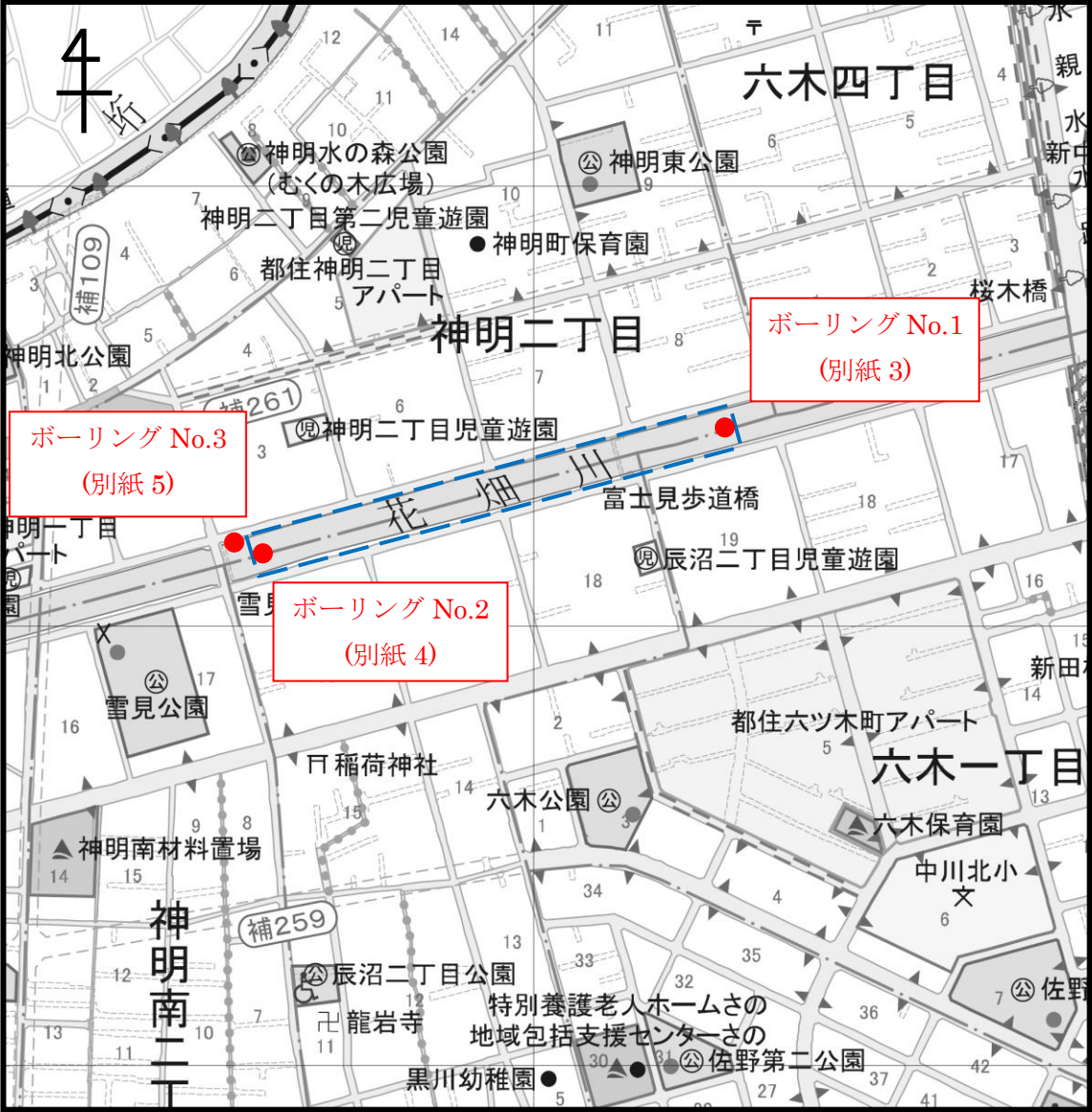
- 将来の散策路部へ土を盛る

～令和6年10月頃
⑦護岸工



- 土が崩れないように保護する
- 土が河川の水で流されないよう保護する

花畑川環境整備その1 工事 ボーリング調査位置図



--- 花畑川環境整備その1 工事施工範囲

ボーリング柱状図

別紙 3

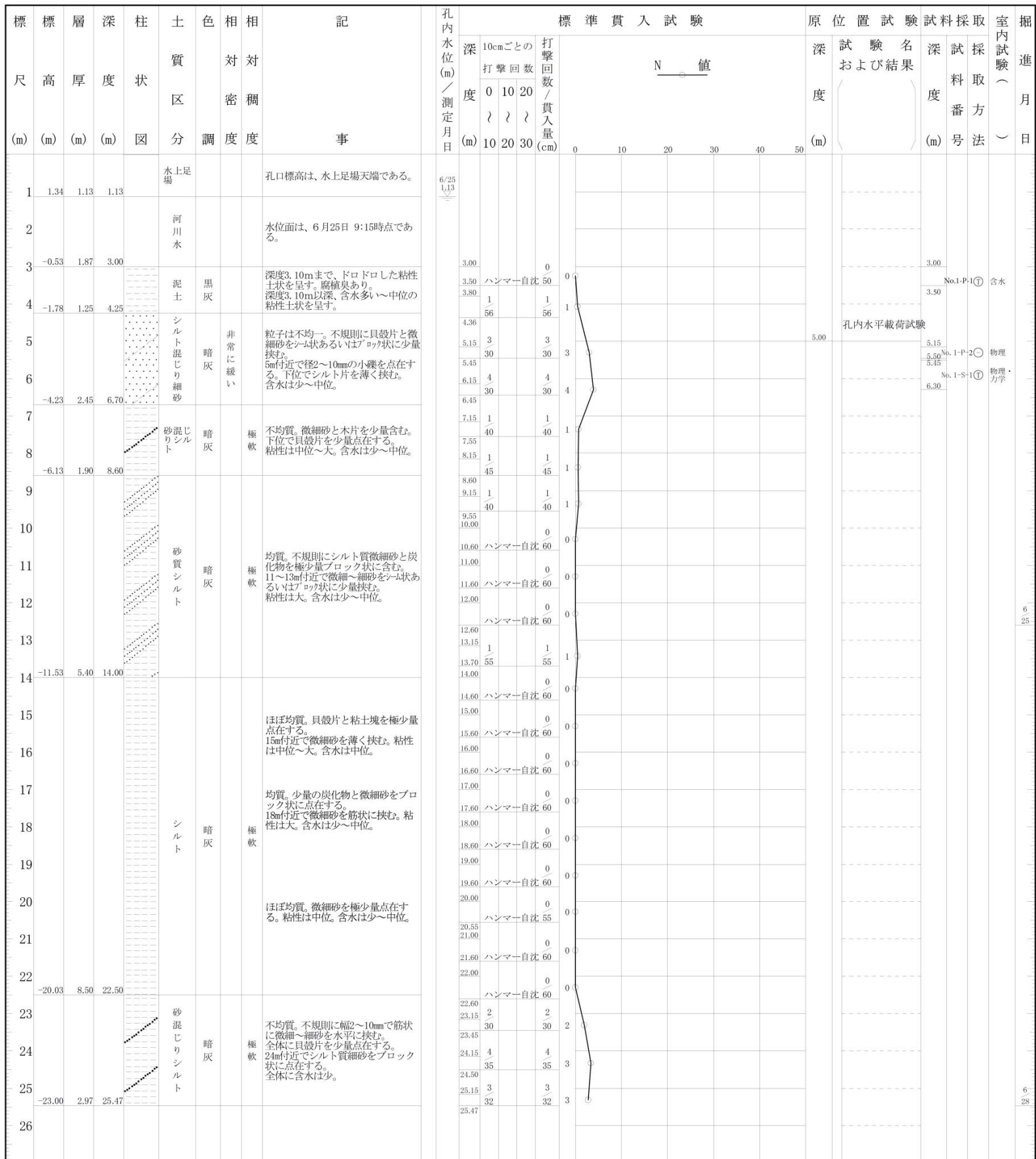
調査名 花畑川土質調査業務委託

ボーリングNo 1

事業・工事名

シートNo 1

ボーリング名	No. 1		調査位置	東京都足立区辰沼二丁目16番から神明二丁目8番先		北緯	35° 47' 35.24"									
発注機関	足立区 都市建設部 道路整備室 工事課			調査期間	令和 3年 6月 21日 ~ 3年 6月 30日		東経	139° 50' 15.45"								
調査業者名	株式会社 東京地質コンサルタント 電話 (03-3843-2561)		主任技師	川崎 正		現代人	深澤和寿		コ鑑定者	川崎 正		ボーリング責任者	天笠光雄			
孔口標高	A.P. +2.47m	角	180° 上 90° 下		方	北 0° 270° 西 180° 南		地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°		使用試験機	YBM-05		ハンマー落下用具	半自動落下法	
総掘進長	25.47m		度	0°		向	西		エンジン	ヤンマー NFD9-M		ポンプ	カノーV6			



ボーリング柱状図

別紙 4

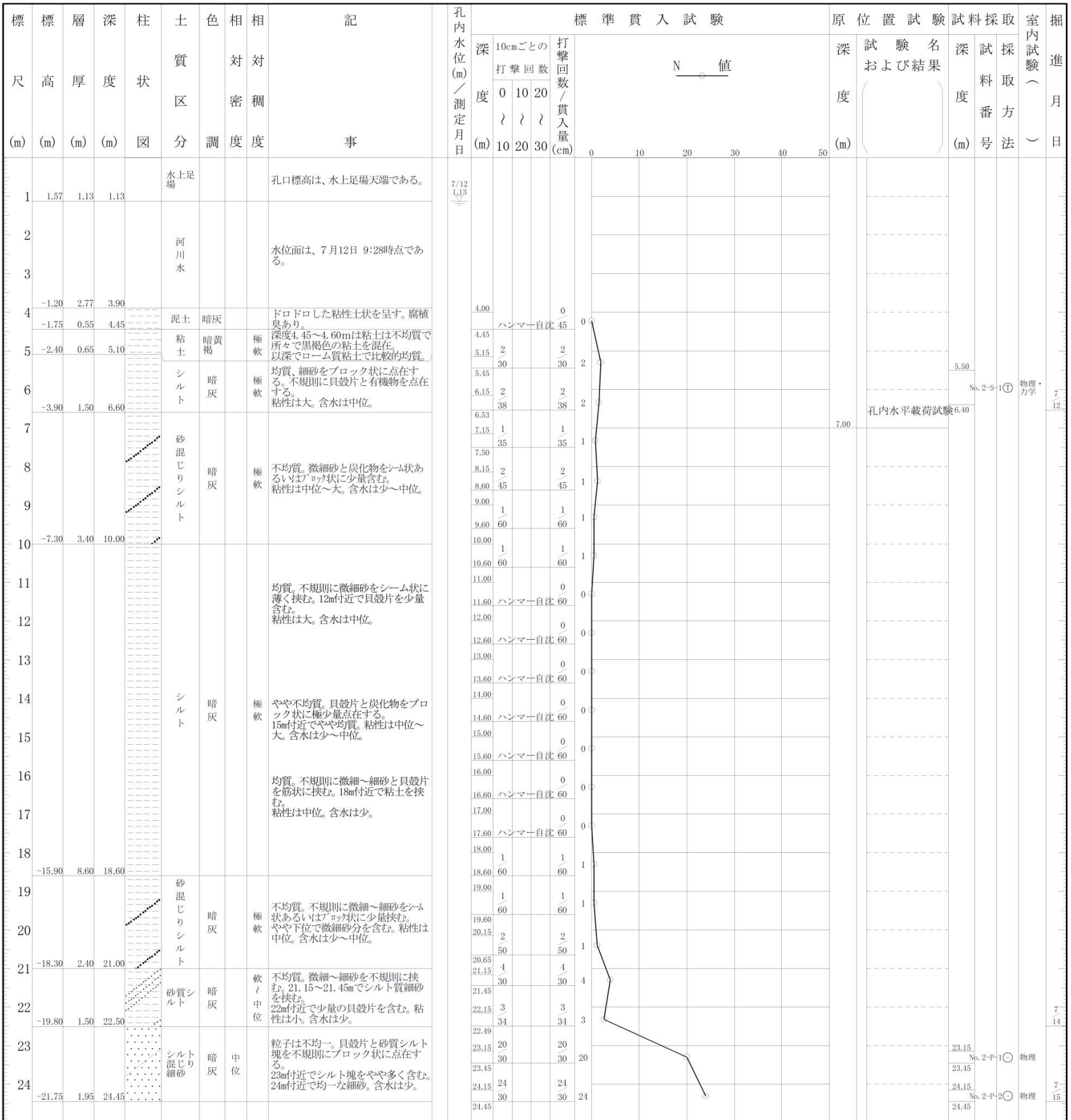
調査名 花畑川土質調査業務委託

ボーリングNo 2

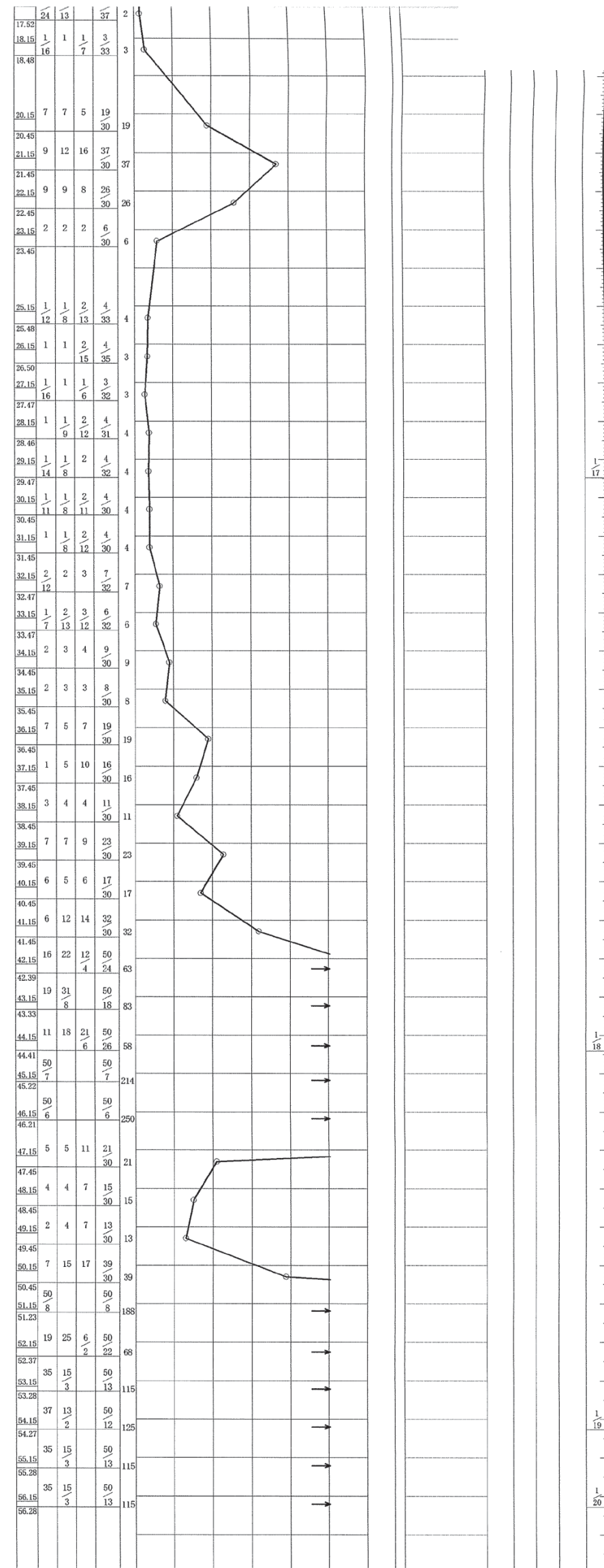
事業・工事名

シートNo 1

ボーリング名	No. 2		調査位置	東京都足立区辰沼二丁目16番から神明二丁目8番先			北緯	35° 47' 32.40"								
発注機関	足立区 都市建設部 道路整備室 工事課			調査期間	令和3年7月6日～3年7月21日			東経	139° 50' 0.25"							
調査業者名	株式会社 東京地質コンサルタント 電話 (03-3843-2561)		主任技師	川崎 正		現場代理人	深澤和寿		コピア鑑定者	川崎 正		ボーリング責任者	天笠光雄			
孔口標高	A.P. +2.70m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		使用機種	YBM-05		ハンマー落下用具	半自動落下法	
総掘進長	24.45m		度	0°		向			エンジン	ヤンマー NFD9-M		ポンプ	カノーV6			

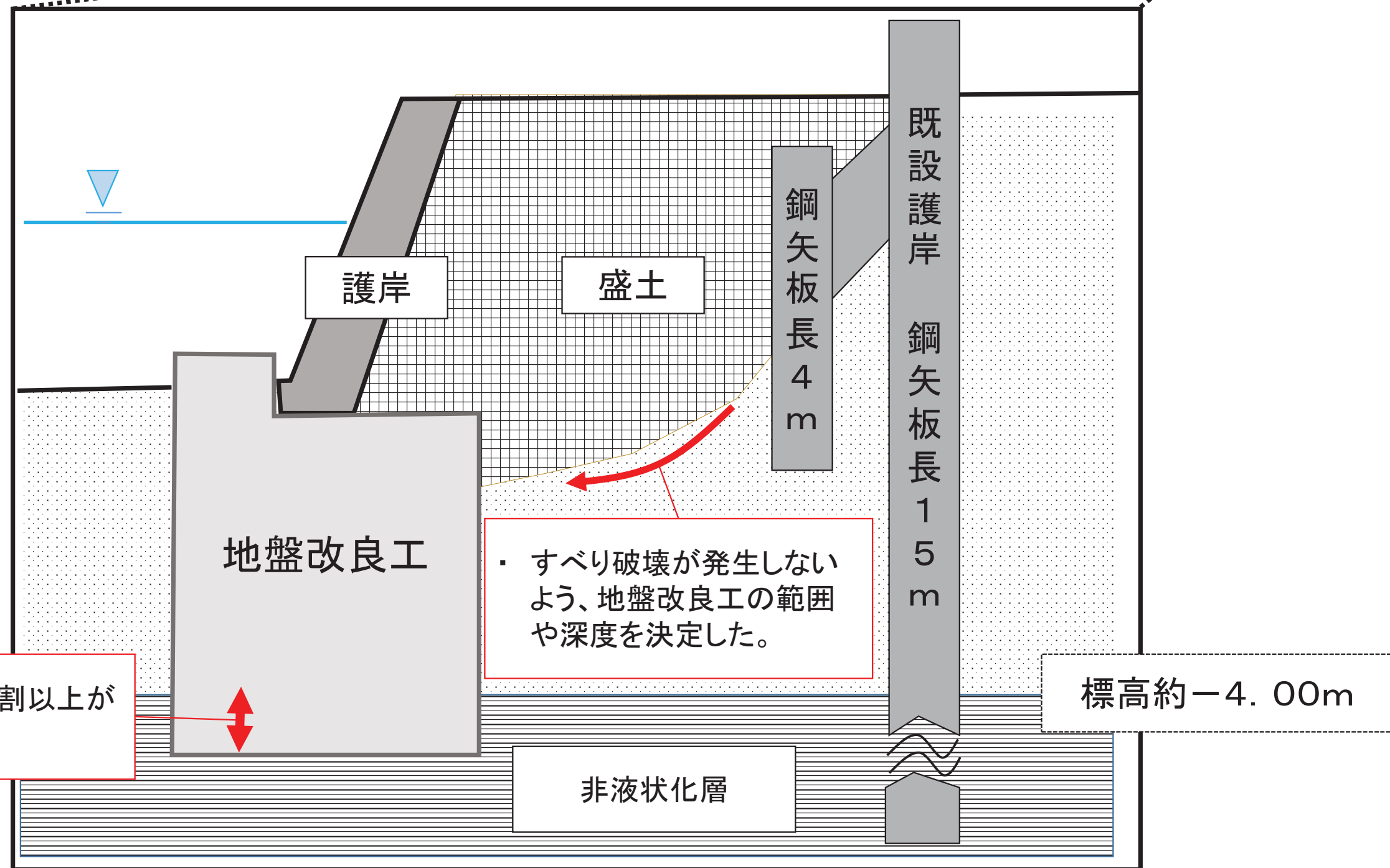
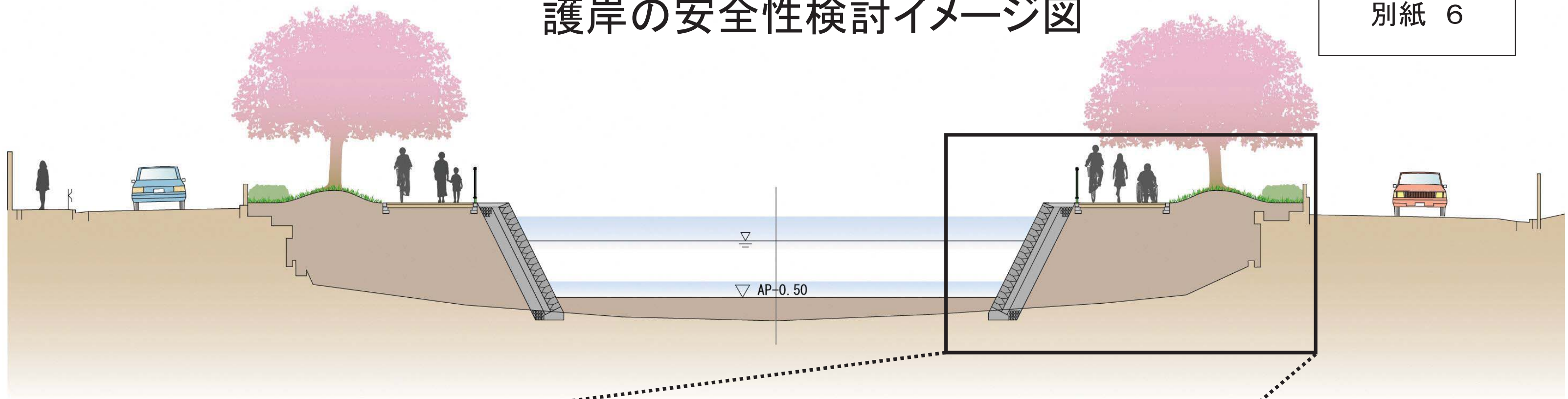


18	-17.96	2.20	18.70	砂混じりシルト	暗灰	中ぐらい	中に軟らかい	中に軟らかい 貝殻片を少量混入する。 含水は中位である。 粘性は中位である。
19	-19.86	1.90	20.60	シルト質細砂	暗灰	中ぐらい		全体にシルトを混入する。 砂の粒径は不均一である。 含水は多い。 貝殻片を混入する。
21	-22.06	2.20	22.80	細砂	暗灰	中ぐらい ～密な		砂の粒径はやや均一である。 貝殻片を混入する。 含水は中位である。 22m付近から砂の粒径が細かく、貝殻片を含まない。
23	-24.16	2.10	24.90	シルト質細砂	暗灰	緩い		砂の粒径は不均一である。 全体にシルトを混入する。 含水は多い。
26	-27.01	2.85	27.75	砂質シルト	暗灰	軟らかい		全体に不均質である。 含水は中位である。 粘性はやや弱い。
28	-29.46	2.45	30.20	砂混じりシルト	暗灰	軟らかい		含水はやや少ない。 粘性は中位である。 29m付近はサンドベイクがみられる。 30m付近は有機物を混入する。
31	-33.06	3.60	33.80	粘土質シルト	暗灰	中位		全体にほぼ均質である。 含水は少ない。 粘性はやや強い。
34	-34.96	1.90	35.70	砂混じりシルト	暗灰	中位 ～硬い		砂を斑点状に混入する。 上部は砂が多い。 含水は少ない。 粘性は中位である。
36	-35.56	0.60	36.30	砂混じり細砂	暗灰			φ10mm程度の礫を混入する。 砂の粒径は不均一で含水は多い。 木片を混入する。 含水は少ない。 粘性は中位である。 36.80mから砂を互層状に挟む。
37	-36.61	1.05	37.35	有機質粘土	黒灰			砂の粒径は不均一である。 シルト少量混入し含水は多い。
38	-37.31	0.70	38.05	中砂	暗灰			有機物を混入する。 含水は少ない。粘性は弱い。
39	-38.11	0.80	38.85	砂質粘土	暗灰	硬い		
40	-39.86	1.75	40.60	中砂	暗灰	中ぐらい		砂の粒径は不均一である。 細礫を点状に混入する。 含水は非常に多い。
41	-43.21	3.35	43.95	微細砂	暗青灰	密な ～非常に密な		砂の粒径は細かくほぼ均一。 雲母片を少量混入する。 含水は中位である。
45	-46.26	3.05	47.00	細砂	暗灰	非常に密な		砂の粒径は不均一である。 含水は中位である。 45m付近から粒径はほぼ均一。
47	-46.76	0.50	47.50	シルト質細砂	暗灰	中ぐらい		砂の粒径はやや均一である。 シルト混入し含水は少ない。
49	-49.16	2.40	49.90	砂混じりシルト	暗灰	硬い		斑点状に砂を混入する。 含水は少ない。 粘性はやや強い。
50	-49.86	0.70	50.60	砂混じり硬質シルト	褐灰	固結した		全体に砂を混入する。 含水は少ない。 固結状で硬い。
53	-55.54	5.68	56.28	細砂	黒灰 ～暗灰	非常に密な		砂の粒径はやや均一である。 含水は中位である。 52m付近から暗灰色。 52.70m付近から細礫を点状に混入する。 55m付近は粒径が不均一である。 56m付近は粒径がほぼ均一である。



護岸の安全性検討イメージ図

別紙 6



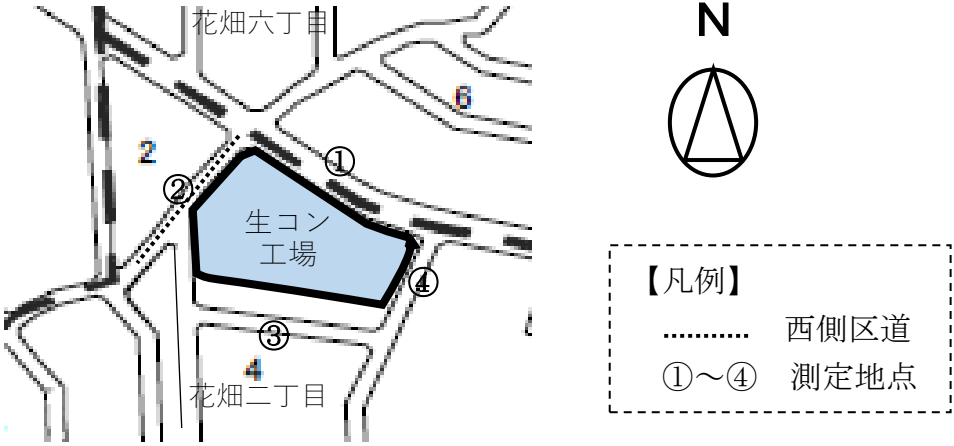
建設委員会報告資料

令和4年11月14日

件名	開発許可の審査基準策定に伴うパブリックコメントの実施結果について								
所管部課名	建築室開発指導課								
内 容	<p>開発許可の審査基準（以下「審査基準」という。）の策定に伴うパブリックコメントの実施結果について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 パブリックコメントの概要</p> <p>(1) 意見募集の期間 令和4年9月1日（木）～令和4年9月30日（金）</p> <p>(2) 周知方法及び閲覧場所</p> <p>ア あだち広報8月25日号にて事前告知、意見募集の期間中においてはホームページ及びSNSにより周知。</p> <p>イ 開発指導課、区民事務所、中央図書館、区政情報課、政策経営課の各窓口にて資料を閲覧、配布。</p> <p>ウ 全日本不動産協会東京都本部城東第一支部及び東京都宅地建物取引業協会足立区支部との連絡会において、審査基準の概要を説明。</p> <p>2 パブリックコメントの結果</p> <p>審査基準の策定に対する足立区への意見・要望はなし。</p> <p>3 今後の予定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">年 月</th> <th style="width: 70%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年11月</td> <td>審査基準の策定・公表</td> </tr> <tr> <td>令和4年12月 ～令和5年3月</td> <td>ホームページ等による周知</td> </tr> <tr> <td>令和5年4月</td> <td>審査基準の運用開始</td> </tr> </tbody> </table>	年 月	内 容	令和4年11月	審査基準の策定・公表	令和4年12月 ～令和5年3月	ホームページ等による周知	令和5年4月	審査基準の運用開始
年 月	内 容								
令和4年11月	審査基準の策定・公表								
令和4年12月 ～令和5年3月	ホームページ等による周知								
令和5年4月	審査基準の運用開始								
問題点 今後の方針	令和5年度からの運用開始に向け、審査基準の内容について窓口及びホームページ等により周知を行っていく。								

建設委員会報告資料

令和4年11月14日

件名	花畑二丁目生コン工場への対応状況について																
所管部課名	建築室開発指導課 環境部生活環境保全課																
内容	<p>花畑二丁目生コン工場（以下「工場」という。）の対応状況について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 現地調査について</p> <p>令和4年9月22日（木）午前7時30分から午前9時まで、開発指導課と生活環境保全課が現地調査を実施。次のとおり、交通安全や周辺への騒音等に配慮した操業が行われていることを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 午前8時前の砂、セメント等搬入車両の入場・出場 延べ4台 砂利の搬入車両の出入り なし ・ 通学時間帯（午前7時30分～午前8時30分）における西側区道の生コン車の通行 延べ11台 ・ 交通誘導員の配置 北側2名 西側2名 ・ 工場稼働時の騒音測定を実施、砂利の投入なし <table border="1" data-bbox="512 1137 1193 1447"> <thead> <tr> <th rowspan="2">測定地点</th> <th rowspan="2">場所</th> <th>測定値(dB)</th> </tr> <tr> <th>(8:05～8:24)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>北側道路</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>西側道路</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>南側道路</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>東側道路</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">（環境基準は50dB）</p> <p>[位置図・測定地点図]</p>  <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 西側区道 ①～④ 測定地点 	測定地点	場所	測定値(dB)	(8:05～8:24)	①	北側道路	68	②	西側道路	62	③	南側道路	62	④	東側道路	65
測定地点	場所			測定値(dB)													
		(8:05～8:24)															
①	北側道路	68															
②	西側道路	62															
③	南側道路	62															
④	東側道路	65															

	<p>2 工場による工場周辺騒音測定について</p> <p>令和4年9月30日（金）、生コン工場が行った周辺の騒音測定に生活環境保全課が同行し、以下の確認を行った。</p> <p>(1) 早朝の状況を把握するため、測定時刻を午前9時から午前8時30分に変更。</p> <p>(2) 前頁1と同じ測定地点での測定を確認し、測定値は50～55dBであった。</p> <p>3 工場に対する違反指導について</p> <p>令和4年9月9日（金）に区へ提出された建築基準法第12条第5項に基づく報告（令和4年9月29日建設委員会報告済み）を受け、区より工場へ指導文を通知し、改めて違反是正に向けた指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 段階的な移転計画等の是正計画を3年以内に作成し、区へ提出すること。 ・ 工場の操業、作業による近隣への粉塵、騒音、振動対策を徹底し、一層の対策に努めること。 ・ 工場関係車両は法定速度を厳守することはもとより、歩行者の横断、すれ違いの際には停止するなど交通安全に特段の注意を払い、児童・生徒の通学時間帯には北側及び西側出入口に交通誘導員の配置を徹底すること。
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>引き続き関係所管と連携して、当該工場に対して必要な指導を継続する。</p>

建設委員会報告資料

令和4年11月14日

件名	居住支援の取組み状況について										
所管部課名	建築室住宅課 高齢者施策推進室地域包括ケア推進課										
内容	<p>令和4年10月21日（金）に開催した第5回足立区居住支援協議会について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 第5回足立区居住支援協議会の開催結果</p> <p>(1) 開催日時 令和4年10月21日（金）午後2時～午後3時30分</p> <p>(2) 議事内容</p> <p style="margin-left: 20px;">ア あだちお部屋さがしサポート事業の実績及び進捗について</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 令和4年度の居住支援の取組みについて</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 新たな居住支援について</p> <p>(3) 議事内容についての主な意見や質疑と今後の対応案等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">主な意見・質問</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">今後の対応案</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">昨年度の成約件数等より、今年度の成約件数が少ない具体的な理由と今後の進め方を教えてほしい。</td> <td style="padding: 5px;">昨年度は事業開始当初に伴い、中・長期で困っていた方へ紹介ができた。今年度は、真に困っている配慮者が減っている様に感じる。今後は、成約に至らなくても相談者に適切な場所へ繋げるよう寄り添って対応していく。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">高齢に加え身体的な障がいがあり、施設入居の必要性が見込まれる相談者は福祉部門と連携が必要ではないか。</td> <td style="padding: 5px;">これまでも福祉部の地域包括ケア推進課職員がヒアリングに同席し、相談者に寄り添った対応を行っている。今後も連携体制を継続して取り組んでいく。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">様々な居住支援法人があるなかで、区として信頼できる法人と連携を行ってほしい。</td> <td style="padding: 5px;">居住支援法人ごとに、特徴があるので精査して連携を進めていく。</td> </tr> </tbody> </table>			主な意見・質問	今後の対応案	昨年度の成約件数等より、今年度の成約件数が少ない具体的な理由と今後の進め方を教えてほしい。	昨年度は事業開始当初に伴い、中・長期で困っていた方へ紹介ができた。今年度は、真に困っている配慮者が減っている様に感じる。今後は、成約に至らなくても相談者に適切な場所へ繋げるよう寄り添って対応していく。	高齢に加え身体的な障がいがあり、施設入居の必要性が見込まれる相談者は福祉部門と連携が必要ではないか。	これまでも福祉部の地域包括ケア推進課職員がヒアリングに同席し、相談者に寄り添った対応を行っている。今後も連携体制を継続して取り組んでいく。	様々な居住支援法人があるなかで、区として信頼できる法人と連携を行ってほしい。	居住支援法人ごとに、特徴があるので精査して連携を進めていく。
主な意見・質問	今後の対応案										
昨年度の成約件数等より、今年度の成約件数が少ない具体的な理由と今後の進め方を教えてほしい。	昨年度は事業開始当初に伴い、中・長期で困っていた方へ紹介ができた。今年度は、真に困っている配慮者が減っている様に感じる。今後は、成約に至らなくても相談者に適切な場所へ繋げるよう寄り添って対応していく。										
高齢に加え身体的な障がいがあり、施設入居の必要性が見込まれる相談者は福祉部門と連携が必要ではないか。	これまでも福祉部の地域包括ケア推進課職員がヒアリングに同席し、相談者に寄り添った対応を行っている。今後も連携体制を継続して取り組んでいく。										
様々な居住支援法人があるなかで、区として信頼できる法人と連携を行ってほしい。	居住支援法人ごとに、特徴があるので精査して連携を進めていく。										
問題点 今後の方針	<p>足立区居住支援協議会でいただいた意見を踏まえ、相談者及び家主の双方に対して、より効果的な周知を図り、さらなる成約に向けて事業を実施する。</p>										